

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第245号 2024年10月号

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



あき 秋です。桶ヶ谷沼のアカトンボに会いに来ませんか？

桶ヶ谷沼に秋がやってきました。桶ヶ谷沼では秋のトンボであるアキアカネやヒメアカネ、コノシメトンボなどのアカトンボが見られるようになってきました。

一般的には、ショウジョウトンボやウスバキトンボなども含めて、赤色やオレンジ色をしたトンボのことをアカトンボと呼んでいますが、正式には「トンボ科アカネ属」に属するトンボのことを「アカトンボ」と言います。日本では21種類が確認されており、そのうち12種類が桶ヶ谷沼で確認されていましたが、去年11月22日、「オナガアカネ」が確認され、13種類となりました。オナガアカネは朝鮮半島や極東ロシアに生息するトンボですが、北西の季節風に乗って日本にやってくることもあり日本海側では見られますが、太平洋側ではあまり見られませんでした。

枝や竹竿の先にとまる桶ヶ谷沼のアカトンボたちに会いに来ませんか。



アキアカネ



十ツアカネ



ヒメアカネ



ノシメトンボ



コノシメトンボ



ミヤマアカネ



マイコアカネ



マユタテアカネ



オナガアカネ

アキアカネが旅をするって知っていますか？

秋、アキアカネは主に田んぼに産卵します。卵で越冬した後、春に孵化し、6月中旬から7月初めごろ羽化します。しかし、このころアキアカネを目にすることはほとんどありません。暑さの苦手なアキアカネは梅雨が明けるころ、標高1000m以上の高地まで移動し成長します。その後、涼しくなった秋に再び平地に戻ってきて交尾・産卵をします。このころ姿が見られるようになります。

桶ヶ谷沼ビジターセンターではアキアカネの移動を調査するため、毎年8月中旬に「天竜の森」に出かけ、アキアカネの頭数調査と移動経路を調べるためのマーキング調査（翅に採取日、採取場所、採取した人の記入）を行っています。

近年は温暖化の影響なのか、アキアカネが桶ヶ谷沼に戻ってくるのが遅く、10月下旬から11月上旬になっています。そして、12月上旬まで見ることができます。しかし、かつてたくさん見ることができたアキアカネは、近年数が減ってきています。



アキアカネ(メス)



アキアカネ(オス)



マーキングのようす

アカトンボと間違われるウスバキトンボ

広場やグラウンドで群れをなして飛んでいるオレンジ色のトンボを見つけ「アカトンボが飛んでいる」と思ったことがあるのではないのでしょうか。そのトンボはウスバキトンボと言い、アカトンボの仲間（アカネ属）ではありません。

このトンボは、東南アジアなどの熱帯地方で羽化し、南風に乗って日本にやってきます。ほとんどのトンボの世代交代は1年なのに対し、このトンボは1か月程度で世代交代をしながら日本を北上していきます。なお、日本を北上したトンボは越冬できずに死んでしまいます。8月頃によく見られるので「精霊トンボ」とも呼ばれています。



ウスバキトンボ

童謡「赤とんぼ」の1番の歌詞に出てくるトンボと言われている

センター行事「ハチの勉強会」

- ☆ 日時 12月8日(日) 9:30~11:30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター
- ☆ 対象 一般(小学生は保護者の同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ 内容 ハチの種類やハチの巣の成り立ち、生活史、ハチに刺されないための知識等について学びます。ハチやハチの巣の実物を見ることができます。
- ☆ 服装・持ち物 作業や観察のできる服装(長そで、長ズボン)
- ☆ 募集人数 20人(先着順)

*申し込みは直接、電話やファックスでビジターセンターへ